

26 孝 子 桜

伝承地：古賀志町583（城山西小）



（城山西小の孝子桜）

城山西小の校庭内にある市指定文化財のシダレ桜は、「孝子桜」と呼ばれる樹齢約400年の老木であるが、毎年見事な花を咲かせている。この桜には、次のような伝説がある。

むかし、古賀志に病気の父親を看病しながら、山仕事や畑仕事に精を出していた孝行な息子がいました。

秋の収穫が終わりに近づいたころ、死期が近いことを感じとったのか、病気の父親は息子に、死ぬまでにもう一度桜の花を見たいと伝えました。しかし、季節は冬に向かおうとしているので、とてもかなえられない願いなのです。途方に暮れましたが、日ごろ深く信仰していた近くの大日様に願をかけました。雨の日も、風の日も、雪の日も、仕事の合い間を見つけては通いました。すると、小雪の舞い散る寒い朝、孝行息子の心が天に通じたのか、戸を開けると、静かな雪化粧を背景にして、桜の花がもの見事に咲いていました。そして、真白な世界の中にあわい桜の香りが漂い、病気の父の心に春を呼んでくれました。

